

電子複写不可

0620

マイクロ  
作成済

返還済

昭和20.11.26

石垣島東飛行場附近戦闘詳報

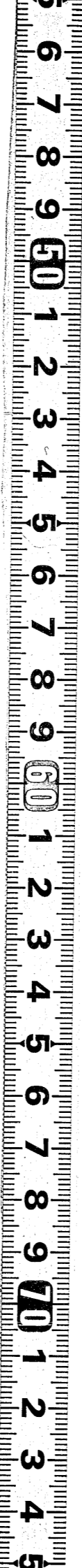
第六九飛行場大隊

防衛研修所戦史室



総 0  
2700-5  
1.

陸空  
本土周辺  
56



1620

區選史料

原本

一三三 石垣島東飛行場附近戦平詳報

第六十九飛行場大隊 (石垣島)

第六十九飛行場大隊

石垣島

C 紙2700-5
1

内部 2620  
32

⑥

①

石垣島東飛行場附近戰鬥詳報

昭和二十年一月二十二日 (自八時至十分)

第二號

軍事 拾四 六號

昭和二十年一月二十五日調製  
第六十九飛行場大隊



23705

156333

目次

- 一 戰鬥前彼我形勢、概要
- 二 戰鬥經過、概要
- 三 彼我、兵力編成交戰セル敵ノ裝備素質戦法等、概要
- 四 戰鬥ニ影響ヲ及シタル氣象地形及住民ノ狀態
- 五 戰鬥後ニ於ケル彼我ノ形勢
- 六 將來參考トナルベキ事項
- 第六十九飛行場大隊編成表
- 第六十九飛行場大隊將校職員表
- 戰鬥詳報第二號附表第一 死傷表
- 戰鬥詳報第二號附表第二 兵器損耗表
- 附圖第一 石垣島東飛行場彼我態勢並戰鬥經過要圖
- 附圖第二 石垣島西飛行場彼我態勢並戰鬥經過要圖

戰鬥前ニ於ケル彼我形勢、概要

一月二十二日二十三時三十分頃飛行場ニ於テ左記四五混旅作命甲第三號ヲ受領ス

左記

- 四五混旅作命甲第三號命令
- 一 諸情報ニ綜合スル敵南西諸島方面奇襲上陸ノ慮アリ
- 二 赤團ハ之戰備ヲ令セトス
- 三 赤團ハ對海邊ノ警戒ヲ強化シ以テ至極ナル警戒裡ニ陣地構築ヲ促進ス
- 四 各地區隊ハ一部ノ兵力ヲ海岸要兵ニ配置シ配備ヲ強化ス

赤團長

大隊ハ右命令ニ基キ同日二十三時左記六隊命令ヲ下達シ各々部署スル處アリ

左記

第六十九飛行場大隊命令

東三三三〇  
東飛行場

一 諸情報ヲ綜合スルニ敵ハ南西諸島方面ニ奇襲上陸ノ慮アリ  
旅團ハ之戰備ニ移行サル

二 大隊ハ東飛行場警備規定ニ基キ之戰備ヲ実施スルト共ニ在  
機ノ秘匿ヲ強化シG型機ヲ配置ヲ一部変更セトス

三 警備中隊長ハ海岸監視哨ヲ配置シ對海空ノ警戒ヲ一層  
至嚴ニシムルト共ニ對空射擊部隊ヲシテ毎拂曉時迄ニ既  
置ニ就カシムル

四 補給中隊長ハ東飛行場來場機ノ秘匿ニ徹底スルト共ニ夜間  
ノ直接警戒ニ明瞭ニ注意スル

又明ニテ薄暮及月明時ヲ利用シG型機ヲ配置ヲ実施スル  
之ヲ爲警備中隊長ハ兵十名ヲ以テ援助セシムル

五 警備中隊長ハ之戰備間七時迄ニ朝食ヲ準備スル如ク給養ヲ實  
施スル

六 衛生主任ハ常時救急所ヲ設置シアリ救急ニ任ズル

七 本部各中隊長ハ諸重要物件ノ分散秘匿準備ヲ完了スルト共  
ニ警戒ヲ至嚴ニシ情報ノ速達ヲ期シ連絡ヲ密ニスル

細部ハ別ニ指示ス

大隊長

浅沼少佐

明々一月ニテ此ノ日早朝來至嚴ナル警戒ノモト各隊班各準

備スル處アリテ之ヲ實施ニ努ムルト共ニ應戰準備ヲ整ヘ敵機ノ來襲

ニ備ヘシ一急情報ノ蒐集ニ勉メアリタリ

戰鬥經過ノ概要

一 東飛行場

大隊ハ右ノ如ク準備シ任務ヲ執行シアタル處ハ時十分頃至  
ルヤ突如飛行場西北方ニ爆音ヲ聞キ同時ニ敵ノ型機七機高度約

二千米ヲ以テ右邊島西南方ニ進行スルヲ見ル

此處ニ於テ大隊ハ機ヲ逸セス空襲警報ヲ發令シ關係各部隊

ニ之ヲ急報シ各隊ニ之ヲ傳達スル共ニ注意ヲ喚起シ逃蔽ヲ徹  
底シ監視ヲ嚴ニシ待機シアリシモ逐次敵機ハ移行スル此頃早  
ニ北飛行場上空ニ我々對空砲火ヲ炸裂スルヲ見砲聲益々シテ  
志氣大ニ昂レリ

斯クシテ時間ノ経過ト共ニ敵機ハ我々對空火網ヲ冒シテ進行シ番  
次西南方ヨリ東南方ニ旋回シタル後編隊ヲ解キ其二乃至三機  
編隊ヲ以テ東西飛行場ニ來襲ニ急降下對地攻撃ニ移リ其二  
編隊ハ西飛行場ニ其ノ三機ハ我々東飛行場ニ進入シテトシテ所  
在飛行機ヲ目標ニ高度約千米附近ヨリ約二百米近クニ及ブ急  
降下機銃攻撃ヲ加フルニ及ビ待機シアリタル我々對空火器ハ沈着果  
敢間髪ヲ入レズニ射撃ヲ開始シ遂ニ交戦スルニ至レリ  
敵機三機ハ我々對空火器ノ猛火ヲ冒シテ機銃攻撃ヲナシタルモ時  
四十分東方ニ遁走棄退サレタルヲ見ルヤ銃火ヲ入時四十分再ハ敵機  
四機ハ同様東南方ヨリ進入シ機銃攻撃ヲ行ヒタル後飛行場東北方

ニ於テ反轉シ反復東南方ニ向ヒ機銃攻撃ヲ行ヒ我々亦對空火器ノ  
全ウツアゲテ之ニ猛射ヲ浴ビ我々上空ニ於ケル彼我ノ銃聲愈々盛シ  
ニシテ全線ノ志氣旺盛ナリ

此頃亦西北飛行場上空ニ於テモ對空砲火頗ル盛ニシテ彈幕ヲ  
冒シ敵機ノ亂舞スルヲ望見シ彼我ノ銃砲聲熾烈ナリ  
而シテ八時四十分敵機四機ヲ東南方ニ棄退セシモ時ヲ置カズニ八時  
四十分再ハ敵機二機ハ東南方ヨリ進入機銃掃射ヲ行ヒ此頃時  
遂ニ所在飛行機一四式戰鬥機一機突上、被害ヲ被ルニ至リタ  
ルモ全線沈着機放ヤル行動ニヨリ被害ヲ減シ機放正確ナル對  
空射撃ハ遂ニ敵ノ心膽ヲ奪ヒ其攻撃ヲ挫折セシメ遂ニ遁走スル  
止ニキニ至リシメ八時五十分交戦約十二分ニシテ攻撃延機數  
九機全機ヲ巨島東南方ニ棄退セリ  
同時ニ於ケル彼我ノ態勢並其戰鬥經過ノ概要別紙附圖第一、如シ  
ニ西飛行場

西飛行場ニ於テハ飛行場勤務班長以下十三名モ亦昨夜未通過  
 此情報ニ接シテ益々警戒ヲ最ニスルト共ニ任務ヲ履行シテ重要資料  
 ノ分取隠蔽爲装等ニ從事シタル處ハ時三十分頃ヨリ八時迄  
 分頃ニ至リ間反復敵機四機、對地攻撃ヲ受ケ全員沈着冷靜  
 ナリニ努メ被害ヲ減シタルモ遂ニ所在飛行機二機(三式機一  
 機一機)九九式高等練習機一機損傷、損害ヲ被シリ同時  
 ニ於ケル彼我ノ態勢竝其、戦斗經過、概要別紙附圖第ニ、

如シ  
 彼我兵ヲ編成、交戦セル敵ノ裝備素質戦法等ノ概要  
 一、大隊ノ編成別紙第六十九飛行場大隊編成表、如ク將校職  
 員表別紙第六十九飛行場大隊將校各部將校職員表、如シ  
 二、戦斗ニ参加セル兵ヲ別紙戦斗詳報第ニ號附表第一如シ  
 三、敵ノ裝備素質戦法  
 來襲セル敵機ハ艦上戦斗機(グラマンF6F)七機ニシテ十二花機関砲

五  
 戦斗後ニ於ケル彼我ノ形勢  
 二行動シアルモ未ダ六ナル協カハ期待シ得ズ  
 二附近住民ハ昨年十月第一次敵機來襲以來幾度カ敵機ニ對  
 スル經驗ヲ重テ第一次來襲時ノ行動ニ比スレバ概テ冷靜沉着  
 二行動シアルモ未ダ六ナル協カハ期待シ得ズ  
 四 戦斗ニ影響ヲ及ハシタル氣象地形及住民状態  
 一、空襲前後ニ於ケル氣象状況ハ高雲南東ノ風ニ米雲量ハ高積  
 雲アリ最低雲高十五百米、層積雲極少視程十料ニテ敵機ハ層  
 積雲ヲ縫ソテ來襲セリ  
 二附近住民ハ昨年十月第一次敵機來襲以來幾度カ敵機ニ對  
 スル經驗ヲ重テ第一次來襲時ノ行動ニ比スレバ概テ冷靜沉着  
 二行動シアルモ未ダ六ナル協カハ期待シ得ズ  
 三、戦斗ニ参加セル兵ヲ別紙戦斗詳報第ニ號附表第一如シ  
 四、敵ノ裝備素質戦法  
 來襲セル敵機ハ艦上戦斗機(グラマンF6F)七機ニシテ十二花機関砲  
 (落下セル藥莢ニ依リ判断)カヲ裝備セルゴトク飛行機ノ性能射  
 撃伎倆等相當優良ニシテ毎リ難ク戦意亦旺盛ニシテ其ノ戰  
 去ハ高度約二千米ニ於テ解編シタル後ニ乃至三機編隊ヲ以テ逐  
 次飛行場上空ニ近接スルニ從ヒ高度ヲ下ダ約千米附近ヨリ高度約  
 二百米近クニ及ブ相當急角變、急降下對地攻撃ニヨリ投弾セラル  
 五、燒夷実包ヲ混用セル機銃掃射ヲ加ヘリ

八時五分攻撃に来ル敵機延九機全機ヲ石垣島東南方ニ退  
スルヲ直チニ各隊班ヲシテ其ノ被害状況ヲ調査セシメテ之ガ整理ヲ  
実施セシムルト共ニ其ノ状況ノ概要ヲ関係部隊ニ報告シ統制  
ヲ統行シ陣地並ニ諸施設ノ増強ニ努ム至幕ナル警戒ノモトニ敵  
機ノ來襲ニ備ヘリ

大隊兵器ノ損耗附表第二ノ如シ  
他部隊兵器ノ所在飛行機ノ損耗モ、如シ

第五野戦航空修理廠所屬

- 1. 四式戰鬥機 (修理中) 一機 炎上 (東飛行場)
- 2. 三式戰鬥機 (修理完成) 一機 損傷 (西飛行場)

右補助翼中央破片ニ依リ十糧切損、水タンク貫通  
氣筒、震氣筒貫通切損

滑油パイプ (溫度計受感部) 貫通

- 3. 九九式高等練習機 (修理完成) 一機 損傷 (西飛行場)
- 七. 空襲取入ニ命中弾三発

六 將來ノ參考トナルべき事項

- 右發動機集合電線切損命中弾一発
- 右排氣管命中弾一発
- 右發動機架(組)三本切損
- 天蓋胴体各一発命中ニ依リ増加タンク貫通後部右足踏桿  
附根右方方向舵索切損
- 垂直安定板命中弾一発
- 何レモ修理不可能ナリ
- 其ノ他被害ナシ

1. 飛行機ノ掩体ハ相當ノ偽裝ヲナスモ上空ヨリ容易ニ発見セラル  
ヲ以テ板等ヲ用ヒテ天蓋式ニ徹底的偽裝ヲ行ヒ上空ヨリ全ク発  
見セラレザル如クシ敵機ヲシテ飛行場全掩体ヲ射撃セザレハ容易ニ発  
見シ得ザル様實施スルノ要アリ

2. 高射機、砲及高射機、砲ニ依ル對空射撃ハ機敏正確ニ實施  
シ必中率ヲ高クシ訓練ノ要大ナリ



3 機関銃 軽機関銃 小銃 二依ル射撃ハ敵ノ戦機等速度  
 早キモノニ對シテハ敵機ノ我ニ概テ直行スル時射撃スルハ他機  
 行スルモノ等ニ對シテ速ニ望ミ難シ

0880

日本軍用機 編纂 昭和三年一月二十日

機関銃	軽機関銃	小銃	射撃	敵機	戦機	速度
早キモノ	ニ對シテ	ハ敵機	ノ我ニ	概テ	直行	スル時
射撃	スルハ	他機				
行スル	モノ等	ニ對シ	テ速	ニ	望ミ	難シ

第六十九飛行場大隊編成表 昭和二十年十月二十日調製

階級	區分	人員			合計
		本部	警備中隊	補給中隊	
少佐		大隊長 一			一
中尉		二	中隊長 一	中隊長 一	五
少尉		副官 一	二	二	一
見習士官				見習士官 一	一
准尉		三	一	二	六
曹長		四	三	一	八
軍曹(隊長之補)		九	一	四	一四
兵(軍屬)		六四三	一八九	七三三	二六六二
計		九〇三	一五五	九四四	三三九二
主計尉官		二			二
主計准尉		一			一
主計下士官		三			三
経技准尉					
経技下士官		三			三
兵技下士官				二	二
建技下士官					
軍醫尉官		二			二
衛生准尉		一			一
衛生下士官		二			二
衛生兵		一	三	二	六
合計		一〇五三	一五八	九八二	三六一二

備考

一 本編成表は戦半参加セルモノヲ示ス  
二 括弧内ハ軍屬トス





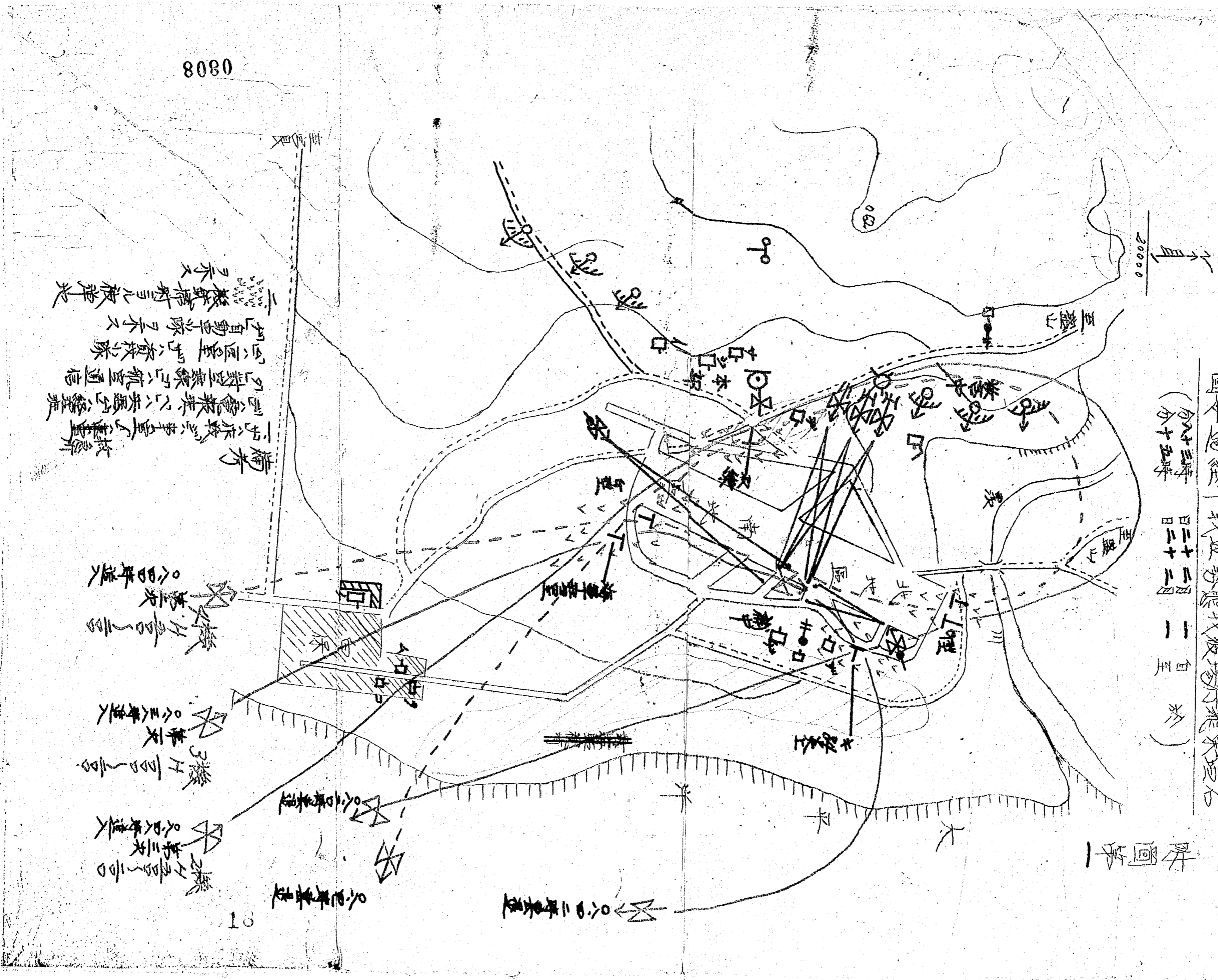
備考 一、對空射擊及使用七、八號砲數	合計	隊	警備中隊	本隊	部	部	部	
		補給中隊	警備中隊	本隊	部	部	部	
小高射機砲	23	23						
高射機砲								
一六三機砲								
一六三機砲								
76								
75								
157								

自一月二十二日  
至一月二十五日  
第六十九飛行場大隊兵器損耗表昭和二十年一月十五日調製

戰鬪詳報 第二號 附表第二

圖要過經斗戰坡勢態我彼場行飛末垣石  
 (分十三時 日二十二月一自至 於)

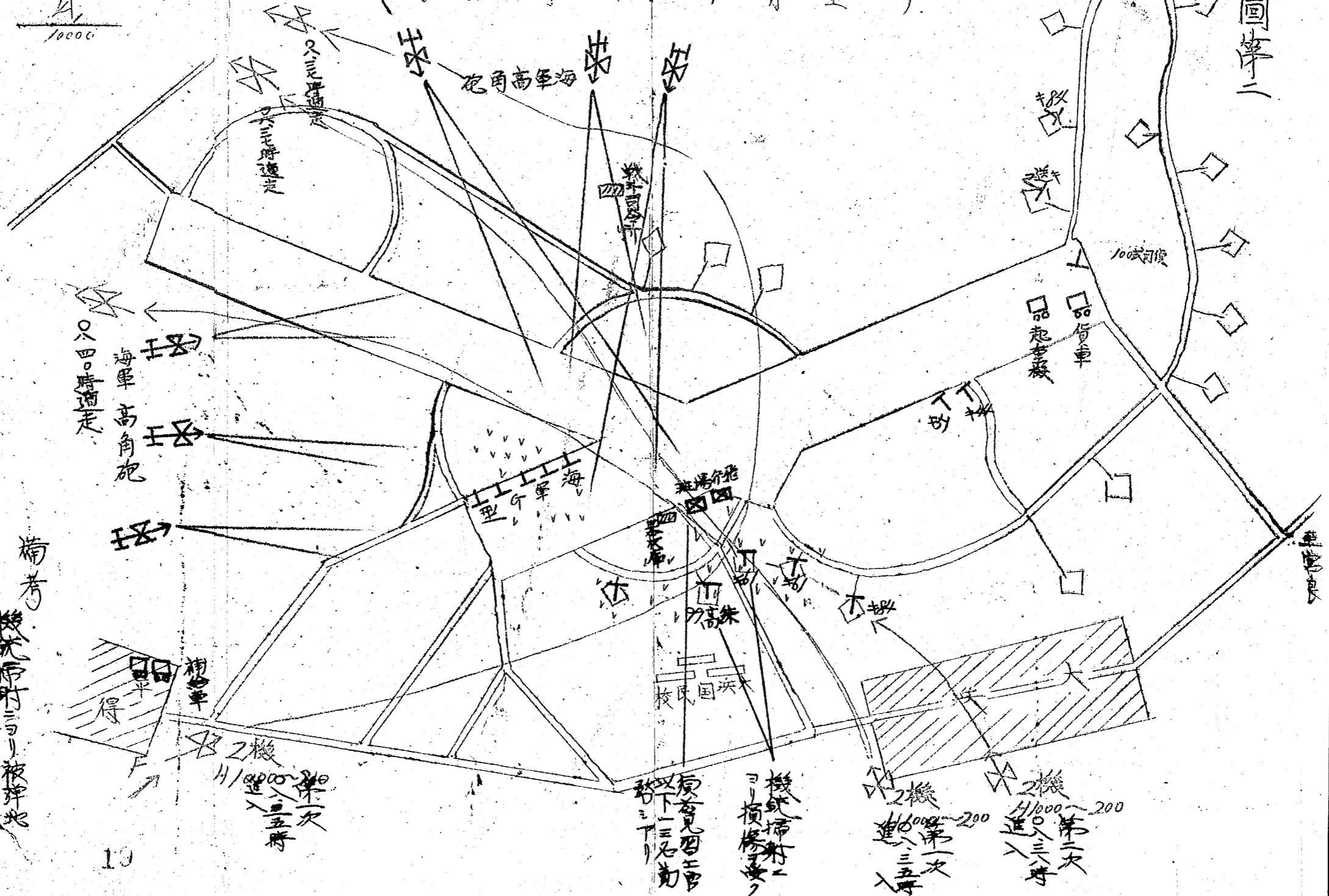
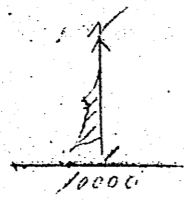
狀圖第一



6080

圖要過敵斗戰並勢態我彼場行飛(軍海)西垣石

(分五十三時八、二十二月一自於  
分八十四時八、二十二月一至於)



附圖第二

備考  
機銃掃射  
機銃掃射

MS 95896  
CITCPAC-CINCPOA  
27 JUL 53  
OKINAWA 24 JULY



